

2025年度当初予算(骨格予算)と2025年2月補正予算への提案(減額)

項目	備考	金額 (億円)
直轄事業負担金(圏央道の整備事業分)	圏央道整備のための直轄事業負担金、25年度当初予算56.8億円と2月補正予算30億の先送り・見直し。	86.8
北千葉道路整備事業	北千葉道路整備分、印西市～成田市間と市川市～白井市間の単独事業県負担分の先送り・凍結。	13.2
企業呼び込み	立地企業補助金の約10.3億円の見直し・凍結。	10.3
区画整理事業	県施工の区画整理事業への一般会計からの繰り入れ(金田西地区2.5億円、運動公園周辺地区9.2億円、柏北部地区5.0億円、流山木地区0.6億円)の凍結・見直し。	17.3
合計		127.6

留保されている約1000億円の予算への提案

項目	備考	金額 (億円)	
県安心・生活安全の	トイレカー・トイレトレーラー導入	県内10か所の各地域振興事務所に導入・配置。	5.0
	避難所となる県立学校体育館へのエアコン設置	エアコン未設置の131校に3か年計画で設置を目指す。今年度は44校を整備。	52.8
	信号機の新規設置	信号機設置費用を平均約500万円で試算。100基分を予算化。	5.0
医療費負担の軽減	国民健康保険の均等割り軽減	子どもの均等割りの全額免除に向け、まずは14歳以下の均等割り全額免除。	20.8
	子ども医療費助成の拡大	現行制度のまま、中学3年生まで通院の医療費を助成。	31.0
	精神障害2級へ医療費助成を拡大	精神障害者保健福祉手帳2級の所持者を重度心身障害者(児)医療給付改善事業の対象に。	20.4
	被爆二世への医療費助成	被爆二世への医療費助成(厚生労働省が定める健康管理手当の支給要件11障害に対する治療を受けた場合)を近隣県並みに実施。	0.2
員医療保と介護処分野改の善人	介護職員待遇改善	訪問介護基本報酬マイナス改定で賃上げが困難な訪問介護サービス従事の介護職員に月額一人1万円(年12万円)の賃上げを行う。	28.0
	看護師等確保対策の強化	保健師等修学資金貸付事業の貸付金額を他県並みにするため、当初予算と同額を上乘せし、貸付金額を倍にする。	4.1
	保育士待遇改善	補助金県負担額を上限1万円から2万円に引き上げ。	24.9
	常勤保健師の確保	人口10万人あたりの保健師数を全国平均並みに増員(347人)する。	21.5
へ地域の支援を支える産業	小規模企業への賃上げ支援	小規模企業の一人月額1万円(年12万円)の賃上げの半額を県が支援(上限60万円)。	60.0
	農家支援	販売農家(約3万4千戸)に平均10万円の支援。	34.0
	漁業者支援	漁船使用の経営体(約1800件)に対し一律20万円を支援。	3.6
	商店(街)支援	商店街支援予算(3500万)を10倍にするための、上乘せ金額【参考】商店数:17,299人 商店街数:606(R4年度 商店街実態調査)。	3.2
減教育負担の軽	学校給食費無償化の拡大	現行制度のまま第2子まで学校給食費無償化を拡大。	60.0
	私立学校施設整備費無償化	年収350万円未満世帯への私立学校施設整備を支援し無料化。	13.0
	私立高校授業料減免拡充	年収910万円までの世帯へ私立高校授業料の無償化。	24.0
境教育善環	特別支援学校の新設	児童生徒100人規模の特別支援学校の10校整備を目指し、まずは県有地を活用し2校新設。	66.0
	未配置解消へ教員増員	県独自に正規教員を100人増員(新規採用正規職員1人当たり573万5千円)。	5.8
人権	学校への生理用品費用	公立学校へ生理用品無償提供のための費用を予算化。	0.1
流域下水道事業の市町村負担の値上げ中止		市町村負担値上げ相当額を支出。総額は約22.0億円。	22.0
合計		505.4	